

©Schutzverband Dresdner Stollen eV Michael Schmidt (DML-BY)



一生に一度は行きたい！ ドイツのクリスマスマーケットと世界遺産

地方ごとの郷土色が豊かで、何度訪れても楽しみが尽きないドイツ。ロマンチックなクリスマスマーケットやバラエティに富んだ世界遺産をめぐる旅が人気を集めている。初めての人からリピーターまで満足できる、魅力あふれるデスティネーションを紹介したい。

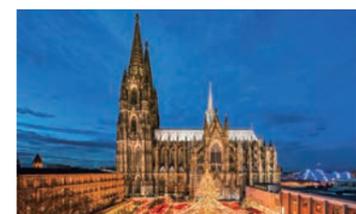
01 ドレスデン 世界最古級のクリスマスマーケット シュトレン祭りも開催

壮麗なバロック建築が立ち並ぶ美しい古都。世界最古級の市「シュトリーツェルマルクト」は、世界一高いクリスマスピラミッドの周辺にシュトレンや工芸品などが並び、古き良きクリスマスマーケットの雰囲気がいっぱい。12月のシュトレン祭りでは約3トンの巨大シュトレンが登場する。新市街にも、ギネス認定「世界一美しい乳製品の店」やポップな中庭が連なる「クンストホーフ・パッサージュ」など人気スポットが点在。観光船に乗ってマイセンやザクセン・スイスへ足をのぼすのも楽しい。



©dpix

03 ケルン 世界遺産の大聖堂など 多彩なクリスマスマーケットをめぐる



©Adobe Stock, Mapics

中央駅に到着すると、目の前で世界遺産の大聖堂が迎えてくれる。完成に600年以上かかった世界最大のゴシック建築教会を背景にしたクリスマスマーケットは圧巻の美しさ。その他「小人たちの市」「天使の市」など各所で個性的な市が立ち、ミニトレンで巡ることが出来る。スケートリンクや観覧車など家族や友人同士でわいわい楽しめるアトラクションも充実。旧市街の酒場では地ビール・ケルシュを味わいたい。



©AdobeStock, engel.ac

クリスマスマーケット

その数2500以上ともいわれるドイツのクリスマスマーケットは、伝統的なものから個性派まで多彩。ホットワインや焼きソーセージで温まりながら楽しもう。



02 ヴェルニゲローデ 魔女伝説が残るハルツ山地 おとぎの国のクリスマスマーケット



©gettyimages, KrzysztofBaranowski

ハルツ山地の麓にある可愛い町。とんがり屋根の市庁舎と木組みの家が並ぶ広場に立つクリスマスマーケットはまるでおとぎの国のよう。蒸気機関車でブロッケン山頂を目指す旅は鉄道ファンならずとも心が躍るはず。ブロッケンで魔女が集まり宴会を開く「ヴァルブルギスの夜」伝説は、ゲーテの『ファウスト』に書かれたことで有名。4月30日から夜通し祭りが開かれ、衣装をした大勢の魔女たちが賑わう。

04 エスリンゲン 異世界にタイムスリップ 中世と現代のクリスマスを楽しむ



©Esslinger Stadtmarketing & Tourismus GmbH, Maximilian Schwarz

ネッカー河畔の中世の面影が残る町。小ベニスと称される運河、天文時計のある赤い旧市庁舎、ドイツ最古のスパークリングワイン醸造所など見所が多い。木組みの家が並ぶ広場では、通常のクリスマスマーケットの隣で中世を再現した市も開催。ろうそくの灯り、テント屋台で働く人々、鍛冶屋の実演や木製の観覧車など全て中世風で異世界にタイムスリップしたかのよう。薪で焼くパンやはちみつ酒など屋台グルメも楽しみ。近郊には、シュトゥットガルトやルートヴィヒスブルクなど人気のクリスマスマーケットが点在する。

世界遺産

ドイツは2024年現在、世界第3位の世界遺産大国となっている。中世の街並みや壮麗な建築物など各地に点在する54件のなかから、街自体にも見所が豊富なおすすめをピックアップ。

05 シュヴェリーン 新しい世界遺産 シュヴェーリンのレジデンス集合群



©Adobe Stock, Anibal Trejo

2024年、メクレンブルク=フォアポンメルン州都シュヴェーリンの城と庭園をはじめとする30以上の邸宅群が新たな世界遺産として登録された。メクレンブルク公の居城として使われていた宮殿は歴史主義建築の最高傑作と評判。湖に浮かぶ優美な姿は「北のノイシュヴァンシュタイン城」とも称される。部屋数は地下や屋根裏も含めるとなんと953もあるとか。現在は一部が州議会議事堂として利用され、博物館として公開されている。城には小人の幽霊が住むという言い伝えがあり、泥棒を追い払ってくれる守護霊として人気。

07 レーゲンスブルク 2000年の歴史が息づく 旧市街とシュタットアムホーフ



©Gettyimages, Steve Daggar Photography

ドイツで最も保存状態が良い中世都市。古代ローマ人が築いた城壁や帝国議会が開かれた旧市庁舎、聖ペーター大聖堂など千にも及ぶ文化財を有する旧市街全体と対岸のシュタットアムホーフが世界遺産に登録されている。ドイツ最古の石橋のそばでは最古のソーセージ屋が営業中。ドナウの流れを眺めながら、炭火焼きソーセージと地元産のビールを堪能したい。



©RTG

06 バイロイト バロック様式の傑作 辺境伯歌劇場



©Bayreuth Marketing & Tourismus GmbH, Ramona Schirner

ワーグナーやリストが居を構えた音楽の都。音楽を愛した辺境伯の妃、ヴィルヘルミーネの希望で建てられた歌劇場はドイツ初のバロック様式劇場で、豪華絢爛な装飾が見るものを圧倒する。夏の音楽祭の時期は、世界中からやってくる約10万人ものオペラファンで賑わう。バイロイトを中心とするオーバーフランケン地方はドイツで最もビール醸造所が密集する地域で、豊かな自然とビールを楽しむハイキングが人気を集めている。



©Bayreuth Marketing & Tourismus GmbH, Loic Lagarde

08 アーヘン 世界遺産第一号 カール大帝の大聖堂が鎮座する温泉保養地



©Lookphotos, Travel Collection

古代ローマ時代から続く温泉保養地。アーヘンの大聖堂は、世界遺産が始まった1978年の第1期に登録された12件のひとつ。8世紀末にカール大帝によって建てられ、神聖ローマ帝国の王の戴冠式が行われたことから「皇帝の大聖堂」とも呼ばれる。バロックやカロリングなど異なる建築様式の融合が特徴で、モザイクで彩られたドームやガラスの礼拝堂は息をのむほど美しい。温泉好きなら、カルロステルメでドイツの温浴文化を体験してみたい。名物の焼菓子プリンテンはお土産におすすめ。



©Stadt Aachen, Andreas Herrmann

